

令和8年度 第1回 学長選考・監察会議議事要録

日 時：令和8年5月22日（金） 13：30～14：00

場 所：対面（事務局棟第1会議室）及びオンライン（Teams）

出 席 者：佐々木委員（議長）、飯塚委員、大谷委員、尾崎委員、渡辺委員、蓮井委員
（人文社会科学部長・人文社会科学野長）、勝二委員（教育学部長・教育学野長）、中村委員（理学部長・基礎自然科学野長）、横木委員（工学部長・応用理工学野長）、豊田委員（農学部長・応用生物学野長）

欠 席 者：なし

監事監査規則第9条第2項による出席者：人見監事、白田監事

議 題

審議事項

- 1 学長選考・監察会議議長の選出について
- 2 令和8年度学長選考・監察会議の開催予定について

報告事項

- 1 学長選考・監察会議における今後の検討事項について
- 2 学長選考・監察会議委員の選任方法等の公表について

議 事 概 要

委員選任後初回の会議開催となることから、議事に先立ち本会議が行う業務の確認があった。

加えて、議長選出までの間、総務課長が議事進行を行うこととなった。

I 審議事項

- 1 学長選考・監察会議議長の選出について

総務課長から資料1に基づき説明があり、学長選考・監察会議規則第5条第1項の規定によって、委員の互選により佐々木委員が議長として選出された。

- 2 令和8年度学長選考・監察会議の開催予定について

議長から資料2に基づき提案があった。次いで、事務局から説明があり、審議の結果、提案のとおり承認された。なお、令和8年度は学長就任初年度のため業績評価は実施しないこと、年3回程度の開催予定であることが説明された。

II 報告事項

1 学長選考・監察会議における今後の検討事項について

議長から、資料3に基づき報告したい旨の提案があった。次いで、事務局から説明があり、学長選考のスケジュール、意向聴取、所信表明、業績評価方法等について今後検討する旨共有された。

【主な意見等】○委員

- オンラインでの意向聴取を始めた令和7年度に投票率が低下した原因の一つに、紙投票のように周囲の人が投票所に向かうといった行動が見えにくいため、リマインドがあっても忘れやすいという点が考えられる。周知方法やリマインド等の工夫が必要である。また、学長選挙自体への意識の高さも投票率に影響すると考えられる。
- 学部等の執行部選考を学長選考後に行う関係からも、学長選考のスケジュールは前倒ししてほしい。
- 候補者の面接については、所信表明内容との重複の解消、候補者間での比較のしやすさを踏まえて、質問の工夫等が必要である。
- 学長業績評価における点数化や公表方法については、必要性や内容の是非について引き続き検討が必要である。
- 検討および規則等の改正については、学長選挙の時期に重ならないよう計画的・段階的に進める必要がある。

2 学長選考・監察会議委員の選任方法等の公表について

議長から、資料4に基づき報告したい旨の提案があった。次いで、事務局から説明があり、委員の選任方法等を大学ウェブサイトで公表していること並びに更新する旨報告があった。

その他

次回は令和8年7月開催予定とし、日程は別途調整することとなった。